

日本経済新聞

夕刊
8月25日
木曜日

時計

したり、小さな陶器に納めたりして身近に置く「手元供養」が注目され

▽…「宝石としての価値は低くても僕にとってもスイスのアルゴダンザ

はかけがえがない」。京や米ライフジェムといっ

都府の片角親男さん(58)はこう話す。海外企業の日本進

出で、ユーザーが増えているという。

▽…遺骨や遺灰のこうした扱いには根

強い異論もあるが、「常にそばにいる安心感」(片角さん)

がある。聞いて三百をスイスに送った。でき上がったのは○・七の透明に

近いブルーの石。指輪に埋め込んで肌身

離さず身につけている。故人も訪れる人が少ない

▽…遺骨や遺灰の一部、墓の下より居心地がいい

をペンダントなどに加工 かもしれない。(義)

故人に日々寄り添う

故人も訪れる人が少ない